



関節リウマチとは違う“リウマチ”の病気

リウマチ性多発筋痛症ってご存知ですか？

リウマチ科

小林 弘/青木 昭子

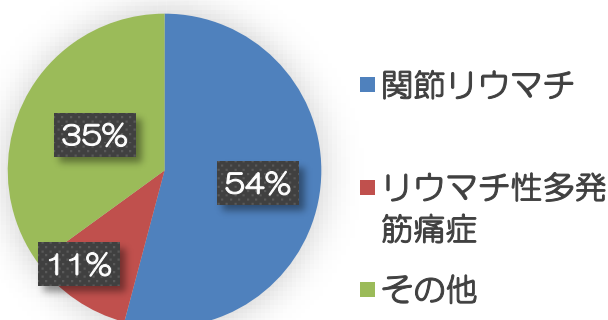
リウマチ性多発筋痛症は、関節リウマチや線維筋痛症とは異なる炎症性の病気です。

リウマチ性多発筋痛症は、肩や股関節の滑液包に炎症が生じる病気です。このため、両腕が挙らない、歩けないと言った症状がみられ、時に寝返りさえ打てなくなります。強い炎症反応を認める一方、リウマトイド因子などは陰性を示します。こうした点で、関節リウマチや線維筋痛症とは異なります。男女比は1：2で高齢の方に多く発症します。当科でも関節リウマチに次いで多くの患者さんが治療を受けています。少量のステロイド治療で速やかに症状が取れて通常は関節の変形には至りません。また、再燃や悪性腫瘍の合併に注意が必要です。

	リウマチ性多発筋痛症	関節リウマチ	線維筋痛症
痛みの出やすい部位	四肢付け根	手指や足趾	全身の圧痛点
炎症反応、CRP 高値	++	+	-
リウマトイド因子、抗 CCP 抗体	-	+	-
ステロイド治療効果	++	+	-
関節の変形	-	+	-



当科通院患者さんの主な疾患



リウマチ性疾患治療センターより
おしらせ

外来受診方法：かかりつけ医の紹介状（診療情報提供書）をご準備の上、お電話にて初診日時を予約ください。病院代表 042-665-5611 におかけ頂き、リウマチ外来に繋いでもらってください。